

岩崎 純一 著

『岩崎純一全集』 第七十六卷「芸術、文化、言語、文学（一の六）」

三次元無形動的芸術（音楽、歌謡、雅楽、歌垣）

編纂、監修 岩崎純一学術研究所『岩崎純一全集』編纂局

巻頭言

本巻は、『岩崎純一全集』の第七十六巻を成し、岩崎の言語の著作物のうち、三次元無形動的芸術（音楽、歌謡、雅楽、歌垣）に関する述作を収める。

目次

巻頭言

第一編 〇歳～十九歳

第二編 二十歳～二十九歳

作曲・音楽情報

作曲した主な楽曲（試聴できます）

楽曲の購入・使用のご要望、作曲・編曲のご依頼について

過去の楽曲提供歴

音楽制作環境（マシン・OS・音楽専用OS・DAW）

過去のCD

作曲・音楽関連リンク

共感覚・閃輝暗点に関する自作音楽

『共感覚幻想曲』

女性の性周期の聞こえ方

『花・共感覚者五十人による』

音楽に見える共感覚色や時空間における位置

「花」という字の共感覚色を募集

ブログの表示&「花」

「花」の件

「花」の締切日&説明

過去のブログ記事の整理

「花」の募集を停止しました

「花」の曲の掲載

『花く共感覚者五十人による』を掲載！

交響組曲 『月ノ巡リ』 (Symphonic Suite “Female

Menstrual Cycle.)

音を「見る」ことがあってもいい・「共感覚」とは何か・

第三編 三十歳～三十九歳

約五十曲分のMP3を掲載しました。

音楽（ダウンロード購入）御見積り・御注文フォーム

音楽ダウンロードページ

音楽のダウンロード販売を開始

第四編 四十歳～四十九歳

第五編 五十歳～五十九歳

第六編 六十歳～六十九歳

第七編 七十歳以降

第八編 著作者の一部および著作権者が岩崎純一であるもの

第九編 著作権者が岩崎純一であるもの

第二編 二十歳〜二十九歳

作曲・音楽情報

二〇〇四年一月十日 起筆

二〇〇四年四月二十四日 公開

二〇一七年三月十三日 最終更新

（二〇一八年七月十五日追記：現在、岩崎の旧サイトの内容は『全集』に収録。）

『絵画を理解するための三つの契機』を作曲（アーティスト、岡崎
莉望様の絵画とのコラボレーション）

特設ページ

『絵画を理解するための三つの契機』

『Lovesick Moon』 二〇一〇

MP3で聴く

恋の病にかかった月。

『Sentimental Express』 二〇一一

MP3で聴く

感傷的な急行列車。元は新幹線に乗っているときに思いつきましたが、そういった超特急列車(Superepress)や急行列車(Express)での旅を表現した曲です。

『Tokyo Bay Side』 二〇一一

MP3で聴く

東京湾沿岸（トーキョー・ベイサイド）の風景。海浜公園、ベンチ、歩道、街灯、港、空港、夜景……。

『Tokyo Skyscape』 二〇一三

MP3で聴く

東京の空域景観。地平線、高層ビル、東京スカイツリー、港、空港、夜景……。いわば『Tokyo Bay Side』の姉妹曲。

二〇一四年二月二十七日

★音楽のダウンロード販売を始めました。ご購入には以下のフォームが便利です。

音楽（ダウンロード購入）のご注文はこちら

音楽（ダウンロード購入）御見積り・御注文フォーム



好きな音楽の本（ページの中ほど）

好きな音楽の本

SYMPHONICA Web Concert での紹介

SYMPHONICA Web Concert

純一（作曲家）の紹介

CD紹介

『幽玄』『刻燈』

音楽学・音楽理論

作曲する言葉　く音楽をつくることに関心がある人へく
ものえ氏のサイト。質の高い音楽学・音楽美学論。

創作田園地帯

須田佳典氏のサイト。質の高い音楽学・音楽美学論。

作曲した主な楽曲（試聴できます）

二〇〇四年一月十日　起筆

二〇〇四年四月二十四日　公開

二〇一七年六月二十二日　更新

二〇二〇年九月五日　最終更新（バレエ上演写真、新聞を追加）

有料（試聴版は無料）

二〇一四年二月二十七日　ダウンロード販売開始

これ以降に作曲・発表した楽曲も、順次追加

著作者及び著作権者への問い合わせが必要

解説

交響詩

幻想曲

管弦楽曲・協奏曲・和楽器管弦楽曲

室内楽曲

ピアノソロ（派生曲も掲載）

民族音楽

シンセサイザー

ピアノ曲（派生曲も掲載）

ジャズ

フュージョン

音楽学・音楽美学上の試みや、特殊知覚・共感覚を用いた音楽的な試み

解説

●私の主な作品のMP3データを掲載しています。（無断での転載・改変を禁じます。）

●過去のCDに収録した曲など、音質を落としてある曲があります。ご了承ください。

●無料配信のため、予告なく再録音・再掲載することがございます。（その場合でも、なるべく更新のお知らせは致します。）

●一部の曲は、以下のYouTubeページでもお聴きいただけます。

YouTube内の私のページ

◇作曲… 岩崎純一

◇録音・データ制作… J J ART MUSIC（岩崎純一個人の音楽レーベル。ピアニストさんなどのご参加もあります。）

◇交響詩・協奏曲・管弦楽曲などに付した★マークの記載は、順に

木管・金管・打・鍵・弦の編成を表す。

◇年号は一応の作曲完了年。

◆作曲などのご依頼は、以下のページをご参照下さい。
作曲・編曲のご依頼、楽曲使用のご要望について
過去の楽曲提供歴
公式メール（学術関係、仕事のご依頼など）

交響詩

交響詩 『刻燈』（こくとう）

二〇〇四年五月十七日 作曲開始

二〇〇七年二月一日 作曲終了

第一楽章 「刻燈一」 MP3で聴く

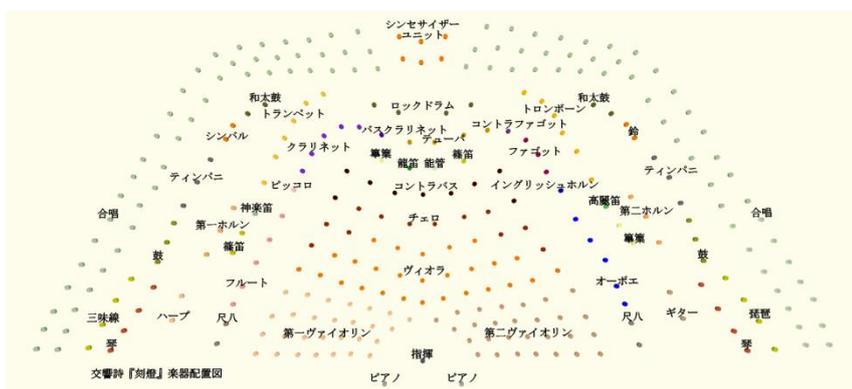
第二楽章 「風光一・鶯・」 MP3で聴く

第三楽章 「刻燈二」 MP3で聴く

第四楽章 「風光二・逍遙・」 MP3で聴く

第五楽章 「刻燈三」 MP3で聴く

★楽器配置図



交響詩 『刻燈』(こくとう) 楽器配置図

★6-6-6-4' 6-6-6-4' 10perc' pf' 琴・三味線・箏・尺八・太鼓など楽器、声明大合唱、ロックドラム、strings

神道・仏教に基づいた六管編成の大規模交響詩。タイトルは私の造語で、「人は刻々と過ぎる時を生きて命のともしびを灯す」の意味。

第一・三・五楽章は現代管弦楽の技術重視で、思想的・文化論的に私が最も尊敬する作曲家の一人である黛敏郎氏の『涅槃交響曲』と『曼荼羅交響曲』へのオマージュ的雰囲気をも織り交せる。

第二楽章の「鶯」は、実際のウグイスの鳴き声を元に作曲。第四楽章の「逍遙」は、点描主義的な発想で、時間軸に指で点を打って作曲。

交響詩 『月花欄干』

二〇〇三年四月三日 作曲開始

二〇〇六年四月十五日 作曲終了

第一楽章 「或る哀愁に撓垂れて」 MP3で聴く

第二楽章 「插花の裾風」 MP3で聴く

第三楽章 「月下に袖枕を和ふ」 MP3で聴く

第四楽章 「綴れ舞」 MP3で聴く

第五楽章 「白砂の汀に寂返る」 MP3で聴く

第六楽章 「月花欄干」 MP3で聴く

★3-2-2-2' 4-2-2-1' 4perc' pf' 和楽器' strings

「欄干」とは、「欄干たる月や星」の「欄干」でもあり、また「欄干たる涙」の「欄干」でもある。すなわち、「鮮やかな月光の下で涙を流す交響詩」との設定。

幻想曲

『共感覚幻想曲』

二〇〇七年四月五日 作曲開始

二〇〇八年一月二十七日 作曲終了

第一楽章 MP3で聴く

第二楽章 MP3で聴く

第三楽章 MP3で聴く

★構想下書き



『共感覚幻想曲』

★3-2-2-2' 3-2-2-1' 3perc' pf' strings

幻想曲形式。自分自身の共感覚を題材にしているが、音楽的にはオーソドックスな作りになっている。

女性モデル様にご協力・ご同行いただき、公園にて、自分自身の共感覚・心象風景を元にしてスケッチ・作曲。

管弦楽曲・協奏曲・和楽器管弦楽曲

『紅梅の月影は夢幻（ゆめまぼろし）のうた』

二〇〇七年六月二十四日 作曲開始

二〇〇九年七月八日 作曲終了

MP3で聴く

★3-2-2-2' 4-2-2-1' 4perc' pf' 琴' 三味線' strings

和楽器クラシック。繊細なピアノで始まるが、後半から大河ドラマ風の大仰なオーケストラとなる。

『冬、五つの幻想』

二〇〇四年十二月十日 作曲開始

二〇〇六年四月十五日 作曲終了

一 「時雨・夕されば」 MP3で聴く

二 「落葉・枯木立にて」 MP3で聴く

三 「霜夜・幻惑」 MP3で聴く

四 「丹頂・求愛の舞」 MP3で聴く

五 「雪花・白き体」 MP3で聴く

★4-3-3-3' 4-3-3-1' 4perc' pf' strings

ピアノ協奏曲、管弦楽曲、バレエ音楽。極めて調性的で、清廉な響きのある聞きやすい曲だと思う。交響曲として構想したが、「落葉」や「丹頂」がバレエ曲として上演されたため、ピアノ協奏曲、管弦楽曲の小曲集としての位置付けとなった。



『夜半の眺め ・ 濤標の路の果てに寄せて』

二〇〇二年十月九日 作曲開始

二〇〇四年五月十日 作曲終了

MP3で聴く

★4・3・3・3′ 6・4・4・1′ Spere' pf' 和楽器' strings

和楽器協奏曲。三管編成に各種和楽器を織り合わせた協奏曲。私は和歌も詠むが、いわば和歌をそのまま作曲したような曲である。

『夕麗』

二〇〇四年六月八日 作曲開始
二〇〇五年五月二十六日 初回作曲終了
二〇一二年十月二十二日 バレエ公演用に編曲
MP3で聴く
バレエ曲。上演のたびに編曲を加え、バレリーナの人数も変動している。

※ 公演リーフレット、新聞より

二〇〇四年のバレエ上演

バレエ『夕麗』初演（会場：岡山市民会館）



二〇〇五年のバレエ上演
バレエ『夕麗』上演（会場：岡山市民会館）



二〇〇六年のバレエ上演
 バレエ『夕麗』上演（ハートランド倉敷
 クエア）
 会場…倉敷アイビース



バレエ『夕麗』上演（国民文化祭 やまぐち2006）



バレエ『夕麗』上演（第二回岡山県バレエフェスティバル
 岡山市民会館）
 会場…

『序曲・桜花』

二〇〇四年十二月二十一日 作曲開始

二〇〇五年一月五日 作曲終了

MP3で聴く

★3-2-2-2' 4-2-2-1' pf strings

各曲のオープニングとして付けるための小編。

『終曲・花再び』

二〇〇四年十二月二十一日 作曲開始

二〇〇五年一月五日 作曲終了

MP3で聴く

★3-2-2-2' 4-2-2-1' pf strings

各曲のエンディングとして付けるための小編。

『紅葉の朱』（もみじのあけ）

二〇〇四年十二月二十一日 作曲開始

二〇〇五年一月五日 作曲終了

MP3で聴く

★3-3-3-3' 4-3-3-1' 5perc' strings

紅葉を描いた小編。フレンチホルンソロの旋律が特色。

『秘密の葉』

二〇〇三年十一月十日 作曲開始

二〇〇四年四月二十八日 作曲終了

二〇〇四年六月二十八日 編曲

MP3で聴く

★3-3-3-3' 4-3-3-1' 5perc' strings

典型的な三管編成だが、フルート、オーボエ、ヴァイオリンが同じ旋律のソロを取り、その間は他の楽器は弦楽とともに伴奏に回る。

『陰影への序章』

二〇〇二年七月十三日 作曲開始

二〇〇二年十月三日 作曲終了

MP3で聴く

★3-3-3-3' 6-4-3-1' 5perc' strings

特筆すべき技巧は用いていないが、少々ロック調の勢いのある管弦楽となっている。

室内楽曲

『朱華』（はねず）

二〇〇七年十二月六日 作曲開始

二〇〇八年二月二日 作曲終了

MP3で聴く

ピアノとヴァイオリンだけから成る和風曲。朱華とは、万葉集に

出てくる赤色の名称。日本古来の赤色（夕日、花など）を称える曲。

『若菜』

二〇〇七年十二月六日 作曲開始

二〇〇八年二月二日 作曲終了

MP3で聴く

ピアノとヴァイオリンだけから成る和風曲。春に萌え出る若菜を表現。

ピアノソロ（派生曲も掲載）

『子供たちのための小曲集一』

二〇〇八年八月十日 作曲開始

二〇〇八年八月十七日 作曲終了

「童心一」 MP3で聴く

「童心二」 MP3で聴く

「跳ぶ」 MP3で聴く

「時」 MP3で聴く

「夢一」 MP3で聴く

「夢二」 MP3で聴く

「夢三」 MP3で聴く

元は限られた保育園児用に作りましたが、どんなお子様が聴いてもよいのではないかと思います。

『子供たちのための小曲集一』

二〇〇七年九月二十五日 作曲開始

二〇〇七年九月二十八日 作曲終了

[c] MP3で聴く

[#] MP3で聴く

[d] MP3で聴く

[#] MP3で聴く

[e] MP3で聴く

[f] MP3で聴く

[#] MP3で聴く

[g] MP3で聴く

[#] MP3で聴く

[a] MP3で聴く

[a#] MP3で聴く

[b] MP3で聴く

長三度ごとに同じメロディーで調を変えているので、聴いているうちに絶対音感が身に付くかもしれません。元より、そのような意図的な効果よりも、子守唄のような効果が目的の曲です。

『水の精の夢』

ピアノソロ

二〇〇四年一月十日 作曲開始

二〇〇四年三月十四日 作曲終了

MP3で聴く

合奏版

二〇〇八年九月十七日 編曲開始

二〇〇八年十月十日 編曲終了

MP3で聴く

スクリヤービンの神秘和音を伴う、神秘不可思議な響きのするピアノ曲。

『紫清漣』（むらさきせいれん）

二〇〇二年九月十五日 作曲開始

二〇〇二年十月三日 作曲終了

MP3で聴く

アサガオやムラサキキャベツの紫色の汁の清い輝き。それらが皿に溜まり、やがて小さな風が吹き、紫色のさざ波を立てるところを表現。

民族音楽

『ガムラン・スケッチ』

二〇〇七年七月十九日 作曲開始

二〇〇八年十月十日 作曲終了

MP3で聴く

インドネシアの民族音楽ガムランの小編スケッチ。

シンセサイザー

『Laanmia』

二〇〇八年十一月十六日 作曲開始

二〇〇九年七月八日 作曲終了

MP3で聴く

ピアノ、シンセサイザー。「ラーンミア」という架空の男性に恋する女性が主人公の曲。この曲に合わせて悲しげなダンスを踊っている。

『Horizontal Desire』

二〇〇八年三月二十七日 作曲開始

二〇〇八年十月十日 作曲終了

MP3で聴く

ピアノ、シンセサイザー。いわば「コズミック・ピアノ曲」。SFの世界や未来の宇宙を空想した曲。

ピアノ曲（派生曲も掲載）

『雪肌詩』（ゆきはだのうた）

ポップス調

二〇〇九年十二月二十三日 作曲開始
二〇一〇年一月三十日 作曲終了

MP3で聴く

管弦楽調

二〇〇九年一月十三日 編曲開始

二〇〇九年七月八日 編曲終了

MP3で聴く

★1-2-2-0' 1-0-0-0' pf strings synthesizer

二〇〇四年（二十二歳）に描きとめ、仮録音していた断片を、二〇一〇年に整理・録音。静かなピアノに始まり、リズムを大きく変えながら進む。雪の舞い散る情景がピアノで描かれる。

『Poème de Pétales I』

二〇〇一年三月八日 作曲開始

二〇〇三年三月十三日 作曲終了

MP3で聴く 詩原文 日本語訳

ピアノソロ

二〇〇四年十二月二十六日 編曲開始

二〇〇五年一月五日 編曲終了

MP3で聴く

「ある日、失恋で心を病んだ女性が哲学的な詩『花びらの詩 I』を日記に書きとめた」との設定で、詩も曲も私が描いた。妖艶・美麗な雰囲気の中に、不安や恐怖も漂う。最初、日本女性による日本語

詩として描き始めたが、フランス語でも描くことでフランス人形的な女性のイメージも持たせた。

ジャズ

『Carenza 9』(カレッツァ・ノーノ)

二〇〇五年十月二十五日 作曲開始

二〇〇六年四月十五日 作曲終了

MP3で聴く

スローバージョン

二〇〇五年十月二十五日 作曲開始

二〇〇六年四月十五日 作曲終了

MP3で聴く

ジャズ。「抱擁（愛撫）の九番目」。主人公の男による「同じ一人の女性」への九回目の抱擁を歌っている。男性的な力強いリズムに、秘密の造語が乗る。

フュージョン

『Lovesick Moon』

二〇〇九年九月十五日 作曲開始

二〇一〇年一月三十日 作曲終了

MP3で聴く

恋の病にかかった月。

『Sentimental Express』

二〇一一年四月二十四日 作曲開始

二〇一一年六月七日 作曲終了

MP3で聴く

感傷的な急行列車。元は新幹線に乗っているときに思いつきましたが、そういった超特急列車(Superepress)や急行列車(Express)での旅を表現した曲です。

『Tokyo Bay Side』

二〇一二年十月二十八日 作曲開始

二〇一二年十二月二十日 作曲終了

MP3で聴く

東京湾沿岸（トーキョー・ベイサイド）の風景。海浜公園、ベンチ、歩道、街灯、港、空港、夜景……。

『Tokyo Skyscape』

二〇一二年十月二十八日 作曲開始

二〇一三年一月二十六日 作曲終了

MP3で聴く

東京の空域景観。地平線、高層ビル、東京スカイツリー、港、空、夜景……。こわば『Tokyo Bay Side』の姉妹曲。

音楽学・音楽美学上の試みや、特殊知覚・共感覚を用いた音楽的な試み

『絵画を理解するための三つの契機』

絵画：岡崎莉望、作曲：岩崎純一

二〇一四年二月二十八日 作曲開始

二〇一四年三月二十日 作曲終了、公開

特設ページ

『絵画を理解するための三つの契機』



交響組曲 『月ノ巡リ』

女性モデル、作曲：岩崎純一

二〇一〇年四月十五日 作曲開始

二〇一〇年七月二十四日 公開

二〇一六年十月二十九日 最終更新

特設ページ

交響組曲 『月ノ巡リ』



『花・共感覚者五十人による』

共感覚者五十名、作曲・岩崎純一

二〇〇九年五月十七日 作曲開始

二〇〇九年九月十日 作曲終了、公開

二〇一六年十月二十九日 最終更新

特設ページ

『花・共感覚者五十人による』

各著作者が全ての権利を保持（但し、岩崎以外の全ての著作者が、各自の当該著作物の内容の全部の使用を岩崎に許可）

花

『「共感覚」への共感覚の音楽』

二〇〇五年三月八日 作曲開始

二〇〇五年三月十五日 作曲終了、公開

二〇一六年十二月十五日 最終更新

MP3で聴く

特設ページ

『「共感覚」への共感覚の音楽』

楽曲の購入・使用のご要望、作曲・編曲のご依頼について

二〇〇四年一月十日 起筆

二〇〇四年四月二十四日 公開

二〇一七年三月十三日 更新

二〇一九年九月二十九日 最終更新



既存曲の購入・使用のご要望や作曲・編曲のご依頼につきましては、個人様・法人様いずれの場合も、以下のアドレスにて承っております。下方の目的別の説明をご覧いただき、ご要望・ご依頼をお送り下さいますようお願い申し上げます。

ご要望の内容や段階に応じて、見積書、納品書、請求書、領収書を発行いたします。

◆岩崎純一宛てのメールアドレス・・・office@iwasakijunichi.net

←既存曲のご購入には、音楽（ダウンロード購入）御見積り・御注文フォームのご使用が便利です。

◆音楽（ダウンロード購入）御見積り・御注文フォーム

← 初めてご連絡を下さる方は、メールフォームのご使用が便利です。

（ただし、岩崎純一の全活動分野を合わせたフォームとなっておりますので、送りにくい場合は上記アドレスに直接お送り下さい。）

◆メールフォームのご利用はこちら

●●その他の公式メール（学術関係、仕事のご依頼など）は、以下のページをご覧ください。

◆公式メール（学術関係、仕事のご依頼など）について

●●個人メール（ご質問、私信など）は、以下のページをご覧ください。

◆個人メール（ご質問、私信など）について

■全般的な説明（その他の公式メール（学術関係、仕事のご依頼など）と共通）

■既存曲の購入をご希望の場合

■既存曲の使用をご希望の場合

■新たな曲の作曲依頼や既存曲の編曲をご希望の場合

■音楽・音声データの編集をご希望の場合

■歌詞制作をご希望の場合

■法令に基づく表示（個人情報保護に関する法律など）

■ 全般的な説明（その他の公式メール（学術関係、仕事のご依頼など）と共通）

※ アドレスを直接クリックしてもメールソフトが立ち上がらない場合は、適宜メールソフトを立ち上げてからコピー&ペーストしていただくか、メールフォームをご利用下さい。

※ 通常のメールやメールフォーム以外に、mixi や Twitter のメッセージでお送りいただいても結構です。

※ 私からの返信が無い場合は、サーバーの不具合などにより往信が届いていない可能性もございますので、お手数をおかけいたしますが、再度ご送信いただければ幸いです。

■ 既存曲の購入をご希望の場合

以下の御見積り・御注文フォームが便利です。送信に不具合がある場合、メールにてご自由な形式でお送りいただくことも可能です。

音楽（ダウンロード購入）御見積り・御注文フォーム

音楽のダウンロード
購入はこちら
DJ ART MUSIC

◆ デモは以下のページでお聴きいただけます。

廃盤CD収録曲も、デモでお聴きいただけるようになりました。（デモは予告なく変更することがございます。）

● 主な楽曲の試聴

◆ 一部の曲は、以下の YouTube ページでもお聴きいただけます。

YouTube 内の私のページ

当サイトで扱う全ての楽曲の著作権・原盤権・版權は岩崎純一（著作者）自身にありますので、ご安心下さい。（音楽出版社、JASRAC、その他の著作権料徴収団体・営利団体は介在しておりません。）

◆支払方法・料金体系

▼個人での鑑賞・非商用の使用であれば、多くの楽曲のMP3ファイル（デモファイルよりも高音質）を格安で提供しております。

（廃盤CDの楽曲も、ジャケットなどは付きませんが、データで個別にご購入いただけます。）

ほとんどのスマートフォンや携帯型音楽プレーヤーでお聴きいただけるMP3（192kbps）が標準形式となっております。

▼御見積り・御注文フォームまたはメールでのご送信後、折り返し以下の内容を記載した見積書をメールにて返信いたします。

ご購入される場合は、改めてその旨をメールにてお知らせ下さい。（本文は、「見積書の通り注文します。」などで結構です。）

変更がある場合は、改めてフォームやメールで見積りをご依頼下さいます。

【← 見積書に記載しています。】

●ご希望楽曲の明細、合計額

（振込手数料は振込方法により異なり、お客様のご負担となります。）

* 納品書・請求書の発行までにご注文のキャンセルが可能です。

↑

▼正式にご注文いただいた場合、折り返し以下の内容を記載した納品書・請求書をメールにて返信いたします。ID・パスワードをご入力の上音楽ファイルをダウンロードし、代金をお振込み下さい。

【← 納品書に記載しています。】

●ダウンロード方法（ログインID・パスワード、ダウンロードページ）

●ご購入楽曲の明細、合計額

【← 請求書に記載しています。】

●お振込先（みずほ銀行、ゆうちょ銀行）

●ご購入楽曲の明細、合計額

← ID・パスワード、ダウンロードページは、納品書に記載されています。

納品書の例

納品書

年 月 日 No.

音楽 太郎 様

貴 0 年 0 月 0 日付第 号御見積の件

IJ ART MUSIC

岩崎 純一

住所

<https://iwasakijunichi.net/>

office@iwasakijunichi.net



下記のとおり御納品致しました。

受渡場所 音楽ファイルが格納されているWebサーバー

ID IDを発行・記載致します。

pass パスワードを発行・記載致します。

ダウンロードページ

ダウンロードページを記載致します。

税込合計金額		税率		消費税額等	
¥0		10%		¥0	
摘要	数量	単価	金額 (税抜)		
1	0	0	0		
2	0	0	0		

◆ID・パスワードはお客様専用のものとなっております、新たに楽曲を購入された場合も、このID・パスワードが適用されます。

◆一度ご購入いただいた楽曲のダウンロード回数は無制限です。

◆一度ご購入いただいた楽曲の新たなファイル形式や軽微な編曲バージョンを追加することがございますが、こちらも無料でダウンロードが可能です。

◆振込（払込）は、ATMと窓口のいずれからでも結構です。

◆領収書につきましては、税法上、お振込の際にご利用になる金融機関の窓口にて手渡される振込控や受領証（金融機関の領収印や受付印が押されたもの）、ATM機の利用明細票（印不要）などが、正式な領収書として有効です。

ただし、音楽レーベル「IJ ART MUSIC」名義での領収書を郵送やメール添付でお求めの方は、その旨をお知らせいただければ、お送りいたします。

その場合、領収書の多重発行を防ぐため、領収書をお送りさせていただいたための切手貼付済みの封筒をご同封の上、振込控などの原本をお送りいただくことがございます。ご了承下さいますようお願い申し上げます。

■既存曲の使用をご希望の場合

メールにてその旨をご連絡下さいますようお願い申し上げます。
ご要望の内容や段階に応じて、見積書、納品書、請求書、領収書を発行いたします。

◆支払方法・料金体系

▼商用使用の場合、新たに使用料のお支払い等が必要になる場合がございます。メールを頂いた後、折り返しメールにて詳細をお送りいたします。

■新たな曲の作曲依頼や既存曲の編曲をご希望の場合

お求めの楽曲のイメージやジャンルについて、ご自由にメールにてお送り下さいますようお願い申し上げます。

ご要望の内容や段階に応じて、見積書、納品書、請求書、領収書を発行いたします。

ご予算、納期、お振込方法（銀行振込・郵便振替いずれも可）などのご要望がございましたら、メールにお書き下さい。

既存曲の編曲のご依頼も受け付けております。原曲は、私岩崎が

作曲した楽曲のほか、権利上問題のない楽曲（依頼者ご自身の作曲など）に限ります。

（「演歌のメロディーラインを作り、鼻歌やアカペラで録音した音源はあるが、これに伴奏を作曲してほしい」といったご依頼が可能です。）

DAW環境がそろっているため、ほぼいかなる楽器・楽想等を用いた音楽でも制作可能ですが、対応できない場合は、作曲前にその旨をメールにてお伝え申し上げます。

音源の納品方法は、基本的にお任せいたします。ネットを通じての納品、CD-Rでの郵送など、対応いたします。

◆支払方法・料金体系

▼買い取り方式

この方式をご希望の場合、その旨をご提示下さいますようお願い申し上げます。

ネットコンテンツ（SNS・ゲームなど）、保育園園歌、学習教材付属DVDの背景音楽など、使用者が著作者に逐一使用報告をすることが非効率的と考えられる作品の場合、この方式でのご希望が多いです。

お買い取りいただいた後は、その音楽を使用したイベント・文化事業・公演や芸術作品で生じた収益を当方に分配していただく必要

はございません。（ただし、著作者の明示の義務はございますので、ご了承くださいければ幸いです。）

※ 作曲料金 Ⅱ 曲の長さ × 曲のパート数

一曲の作曲料は、およそこの方式で決定されます。一度ご相談下さい。一曲につき五千円〜三十万円など様々ですが、およそ五万円前後である場合が多くなっております。

▼印税方式

この方式をご希望の場合、その旨をご提示下さいますようお願い申し上げます。

バレエ音楽など、多くの観衆・聴衆に対して公演・公開され、使用者が著作者に使用報告と収益分配をおこなうことが望ましい作品の場合、この方式でのご希望が多いほか、著作者の私自身もこれを希望させていただくことが多くなっております。

▼混合方式

一度買い取りの後、使用時においても印税が支払われる方式です。比較的多い方式ですので、一度ご相談下さいますようお願い申し上げます。

■音楽・音声データの編集をご希望の場合

メールにてその旨をご連絡下さいますようお願い申し上げます。ご要望の内容や段階に応じて、見積書、納品書、請求書、領収書を発行いたします。

すでにパートごとに録音済みのボーカルデータ・生楽器音データ・ギター音データなどの編集（ミックス・音量調整・音域調整など）を承っております。

なお、当方は自宅であるため、作曲・編集スタジオとなっております。レコーディングスタジオとしての機能（ボーカル・生楽器・ギターなどの録音）は有しておりません。申し訳ございませんが、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

◆支払方法・料金体系

この場合、上記の買い取り方式がほとんどとなっております。一度ご相談下さい。

■歌詞制作をご希望の場合

いわゆるボーカル曲につきましては、カラオケ制作のみを承り、歌詞制作はおこなっておりません。申し訳ございません。

なお、言葉・詞・詩に関する当方の有償での制作には、下記のページの通り、古語を用いた和歌の制作があり、こちらは歌会などで音楽に乗せて吟じられる場合がございます。

このように、歌詞ではなく和歌・詩文寄りのご依頼でございましたら、下記のページをご覧ください、一度メールを頂ければ、検討させていただきます。

◆支払方法・料金体系

和歌の購入・使用のご要望、和歌の制作・解説・解釈のご依頼のページをご参照下さいますようお願い申し上げます。

◆楽曲のご試聴は以下のページにて可能です。

作曲・音楽のページ

◆作曲・音楽関連以外のご依頼は以下のページをご参照下さい。

公式メール（学術関係、仕事のご依頼など）について

個人メール（ご質問、私信など）について

■法令に基づく表示（個人情報保護に関する法律など）

以下のページに法令に基づく表示をまとめてありますので、ご参照下さい。

●法令に基づく表示

過去の楽曲提供歴

二〇〇四年一月十日 起筆

二〇〇四年四月二十四日 公開

二〇一七年三月十三日 最終更新

当ページには主に、依頼を受けた有償での作曲・編曲や、音楽学・音楽美学上の試みとしての作曲の履歴を挙げています。

これ以外のデータ販売用の楽曲は、試聴ページやダウンロード購入ページをご覧ください。

二〇一五～二〇一七年

◆様々なアーティストの展覧会や個展などに、作品の一部や BGM として楽曲を提供（詳細作成中）

二〇一四年

◆『絵画を理解するための三つの契機』を作曲（アーテイスト、岡崎莉望様の絵画とのコラボレーション）

特設ページ

『絵画を理解するための三つの契機』



◆自分自身が著作権法上の全ての権利を有する楽曲の試聴を公開
ただし、販売停止となった過去のCDの購入者がいらっしやるため、音質を落としてある楽曲もございます。

二〇一三年

二〇一二年

◆精神病棟患者用のムード・ヒーリング音楽を作曲・提供

二〇一一年

◆和歌の会「余情会」および伝統遊戯の会「糸姫会」の歌合・貝合に使用する楽曲を作曲、提供。

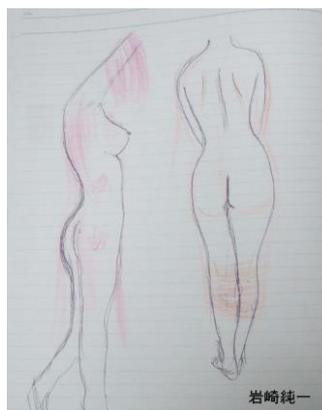
二〇一〇年

◆女性モデル様にご協力いただき、交響組曲『月ノ巡り』の作曲を開始

特設ページ



◆メタバース「Blue Mars」に楽曲・効果音を提供



◆『花・共感覚者五十人による』を作曲
特設ページ

二〇〇九年



花

◆ピジョン株式会社岡山医療センターくるみ保育園の園歌を作曲

二〇〇八年

◆女性モデル様にご協力いただき、『共感覚幻想曲』を作曲
幻想曲の項に掲載。

◆ピジョン株式会社岡山医療センターくるみ保育園の保育使用時の
楽曲『童心』・『夢』・『時』などを作曲

◆作曲家集団「庵」に参加

◆メタバース「Second Life」に楽曲・効果音を提供



◆学習塾教材DVDにバックミュージック四曲を提供

二〇〇七年

◆女性モデル様にご協力いただき、『共感覚幻想曲』を作曲
幻想曲の項に掲載。

◆英語教材DVDにバックミュージック四曲を提供

契約条項により、一括買い取りを許諾し、提供と同時に著作権
法において放棄可能な全ての権利を放棄。

◆Second Life マシニマ「芭蕉」に楽曲提供



◆演歌のカラオケ音源を制作

演歌作詞家の青木圭介氏による作詞の以下の楽曲

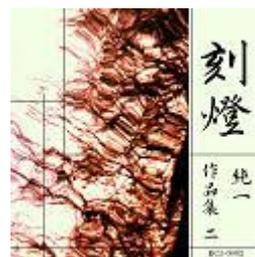
『輪島みれん』、『越前ひとり旅』、『旅人の讃歌』、『一人娘は宝物』

二〇〇六年

◆十一月三日 バレエ『夕麗』上演（国民文化祭 やまぐち二〇〇六）



◆CD『刻燈』発売



◆九月三日 バレエ『夕麗』上演（第二回岡山県バレエフェスティバル 会場：岡山市民会館）



◆『冬、五つの幻想』より「落葉」・「丹頂」を『丹頂の舞』として

バレエ上演（幻想庭園 会場：岡山後楽園）

◆五月二日 バレエ『夕麗』上演（二〇〇六ハートランド倉敷会場：倉敷アイビースクエア）

◆CD『幽玄』発売



二〇〇五年

◆共感覚と音楽とを関連付けた活動を始める。

『「共感覚」への共感覚の音楽』などの特設ページ

◆クラシック・アンサンブル「Rada（ラーダ）」に楽曲を提供
Rada 公式サイト



◆七月三十一日 バレエ『夕麗』上演（井上敬依子バレエスタジオ
第十六会公演、会場：岡山市民会館）

◆muzieを通しての楽曲提供



二〇〇四年

◆バレエ『夕麗』初演（会場：岡山市民会館）



二〇〇三年

◆テクノ系アーティスト **Velna** 氏の楽曲をリミックス
Velna 公式サイト



◆クラシック・アンサンブル「Lustrous Veil」に楽曲を提供

洗足学園音楽大学・国立音楽大学の学生と私岩崎のアンサンブル

■Rosegarden
音楽制作環境

音楽制作環境（マシン・OS・音楽専用OS・DAW）

■Ardour
音楽制作環境

二〇〇四年一月十日 起筆

二〇〇四年四月二十四日 公開

二〇一七年三月十三日 最終更新

■使用OS・ディストリビューション全般の説明

■Kontakt Player
音楽制作環境

■Ujuntu Studio

音楽制作環境

■IK Multimedia
音楽制作環境

■ArtistX

音楽制作環境

過去のCD

■AV Linux

音楽制作環境

二〇〇六年九月八日 起筆
二〇〇六年九月十日 公開

■Musix GNU+Linux

音楽制作環境

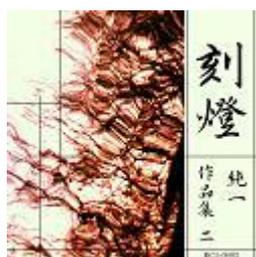
二〇一七年三月十三日 最終更新

●過去に販売したCDです。（販売休止中。）

←データで個別にご購入いただけます。

楽曲の購入・使用のご要望、作曲・編曲のご依頼について

『刻燈』



二〇〇七年、収録時間六十二分

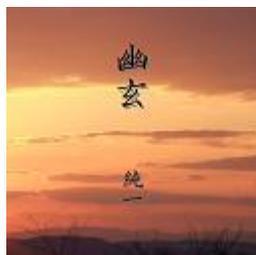
販売レーベル：J ART MUSIC' 品番：JCGJ-0002

I、交響詩 『月花欄干』

- 1、第一楽章 「或る哀愁に撓垂れて」
- 2、第二楽章 「插花の裾風」
- 3、第三楽章 「月下に袖枕を和ふ」
- 4、第四楽章 「綴れ舞」
- 5、第五楽章 「白砂の汀に寂返る」
- 6、第六楽章 「月花欄干」

- II、交響詩 『幽玄』
- 7、第一楽章 「刻燈一」
 - 8、第二楽章 「風光一 鶯」
 - 9、第三楽章 「刻燈二」
 - 10、第四楽章 「風光二 逍遙」
 - 11、第五楽章 「刻燈三」

『幽玄』



二〇〇六年、収録時間六十五分

販売レーベル：J ART MUSIC' 品番：JCGJ-0001

I、春

- 1、『序曲・桜花』
 - 2、『秘密の葉』
 - 3、『水の精の夢』
- II、夏
- 4、『夕麗』

5、『紫清漣』

Ⅲ、秋

6、『陰影への序章』

7、『紅葉の朱』

8、『夜半の眺め・漣標の路の果てに寄せて』

Ⅳ、冬

9、『時雨・夕されば』

10、『落葉・枯木立にて』

11、『霜夜・幻惑』

12、『丹頂・求愛の舞』

13、『雪花・白き体』

14、『終曲・花再び』

作曲・音楽関連リンク

二〇〇四年一月十日 起筆

二〇〇四年四月二十四日 公開

二〇一七年三月十三日 最終更新

民族音楽など)

▼作曲家・演奏家様サイト

■DAW・DTM・コンピューター音楽関連サイトへのリンクは、音楽制作環境のページや第二ブログにまとめてあります。

SYMPHONICAでの紹介

●SYMPHONICA WEB CONCERT：「純一」時代の私のCDの紹介。

作曲・音楽学・音楽理論（楽式論・和声学・対位法・管弦楽法・民族音楽など）

●作曲する言葉　く音楽をつくることに関心がある人へく…ものえ氏のサイト。質の高い音楽学・音楽美学論。

●創作田園地帯…須田佳典氏のサイト。質の高い音楽学・音楽美学論。

作曲家・演奏家様サイト

▼SYMPHONICAでの紹介
▼作曲・音楽学・音楽理論（楽式論・和声学・対位法・管弦楽法・

●TOMO's ART OFFICE：作曲家・Tomo Hirayama（平山智）氏が主宰するアートマネジメントプロジェクト。音楽を中心に現代アートの新しいマネジメントスタイルを展開。

●長富彩… ピアニスト。時々演奏会にお邪魔して拝聴させていた
だいています。

●小川紀美代… バンドネオン奏者。共感覚者でいらっしやいます。
←

◇バンドネオン奏者・小川紀美代の日記 ワタシハ狂ッテイナイ

共感覚・閃輝暗点に関する自作音楽

二〇〇八年三月二十八日 起筆、攔筆、公開

●「紅梅の月影は夢幻のこくとく」…

<http://ji-art-music.com/s/kobai.mp3> (音源)

梅の木や躑ねの色目の紅梅色や若草色、月の黄白色を散りばめて作り込んだ曲。曲名は、僕が詠んだ和歌「梅が香の寝覚めの袖のくれなゐに霞みてまがふ春の月影」に由来。前半は静謐、後半は乱舞。

●「Synaesthetic Fantasy Ⅰ」(共感覚幻想曲Ⅰ)…

<http://ji-art-music.com/s/synaesthetic.mp3> (音源)

知人女性(二十代前半)を僕の共感覚によって描いた曲。制作期間

は約三週間。二〇〇七年十二月。

ある日本庭園にて、背景にふさわしい場所を選んで椅子に座っていた
ただき、移動しては再びじつと座っていらおう、ということをし
り返して、女性を紙とペンだけで、音や絵や文章によりスケッチし
た。その後、それらの草稿に忠実に、全てを音楽的な音に書き換え、
それをなるべく一般的に聞けるような調性音楽的な曲に仕上げた。
(ただし、その女性への共感覚とこの曲とが完全に互換可能な範囲
を保つようにした。) 生身の人間を目の前にして、自分の共感覚を
偽りなく発揮せざるを得ないという状況に身を置いてみたらどうな
るか、という関心が自分の中にあつたため、女性に協力を賜った。

画家が女性や風景を写生する(視覚↓視覚)のと違って、女性を音
に写実するなどというのが(視覚・共感覚↓聴覚)そもそもどうい
うことか、一般的な感覚からすれば信じがたいことかもしれないが、
それは以下にリンクした記事などを参照いただくとして、反対に、
僕がやっている芸術行為の利点は、一言で言えば「必ずしもヌード
を必要としない」ということに尽きるのだと思う。言い方を変えれ
ば、目で見なくても僕が知覚している領域というのがある。以下の
ブログ記事に書いたようなことは、僕にはすでに貫いて「見えてい
る」し、「分かって」いる、ということが先にある。ただし、それを
別の仕方で説得力を持って語るには、目の前に本当に女性を置いて
芸術に訴えてみるしかないのではないか。じれったいけれど、改め

てそう思われた機会だった。厳密に言えば、「再現の再現」、「写本の写本」だから、僕の中で鳴っている「音楽」とは異なっており、光や音波が混じっている共感覚を全部「西洋音階の音」に直したという時点で、「被写体に対して自分が偽っている」というような罪悪感があり、ほとんどそれとの闘いという気もしている。（音楽にした時点でおしまいだ、と言っても過言ではない。）次は、今回以上に被写体に忠実に、かつ日本の音楽の論理に従って女性を描いてみたいものだ。

また、その女性に対するイメージ（思考・思惟・想念）を芸術にしているのではなく、その女性に僕が知覚したものを写実しているのだということを理解していただくためには、やはり最初から説明の必要のない共感覚者の女性、または共感覚を理解している女性を被写体とするしかないのが、困難な点ではある。（知覚したものが、好みや思惟に影響しないという意味ではない。また、自分が曲に書ける女性が自分の「好み」と関係しているかどうかは、当然ながら考えるべきことであって、鋭意探求中である。）その意味で、これまでも色々な女性を描いてきたものの、「共感覚幻想曲」と名を付けたのは、今回が初めてだった。一人または少数の女性を場所を変えて描き続けるべきか、場所を一定させて多くの女性を音に描いてみるべきか、まだ考えている最中だ。どちらも続けたいが、精神力と体力の消耗が・・・。

（関連する僕の文章）

<http://ij-art-music.sblo.jp/article/11195738.html>

<http://ij-art-music.sblo.jp/article/6266089.html>

<http://ij-art-music.sblo.jp/article/4759604.html>

● 「Poeme de Petales Ⅰ」・・・

<http://ij-art-music.com/s/poemedeptales1.mp3>（音源）

<http://ij-art-music.com/music/poemelyric1.html>（詩原文）

<http://ij-art-music.com/music/poemelyric2.html>（日本語訳）

<http://ij-art-music.com/s/poemepiano.mp3>（ピアノソロ版）

共感覚の程度が激しい中、一緒に閃輝暗点までが襲ってきたときの体験に基づいて作った、二年前の詩と曲。二十歳くらいのときに閃輝暗点の最中に見えた模様を、絵に描いておいた。それを二年経ってそのまま音楽に変換しようとしたわけだが、直接的にならないようにどうするか（音楽として聞けるかどうか）で悩んでいたところ、日本語以外によって女性視点での恋愛物語に投影することを発想。詩と曲の全体が、失恋物語にも読める上に、閃輝暗点の視覚世界と激痛の進行過程の忠実な再現にもなっている。

● 「Laanmia」・・・

<http://ij-art-music.com/s/laanmmia.mp3> (音源)

母語（日本語）を覚える前の子どもの頃の記憶を元に作った曲。「ラーンミア、ラーンミア。ヨリススイソリファイアラファン。ラーンミア、ラファイラフィツスイー。ラファア、ラファイア、ラツファアー。」というの、「海と空とが、人にとっては別のものであっても、それらの色は手を取り合って蒼々としているように、あなたを見ることとあなたを聞くことが、どうして私の中では一つのものであるの？ 私の恋人ラーンミアへ。」というのを、僕の創作言語で言ったもの。などと、言葉にすると余計に分かりにくい説明になるが……。

● 「共感覚 Part.1」・・・

<http://ij-art-music.com/s/kyokankaku.mp3> (音源)

ちよつとした遊びで、「共感覚」という漢字を作曲したものだ。大まかに言うと、「共」は黄色ないし山吹色、「感」は青色ないし瑠璃色、「覚」は冠が茶色で「見」の部分が緑色。それを音にしてみた。さすがにこうなると、調性音楽では済まなかった。

『共感覚幻想曲』

二〇〇八年五月三十日 起筆、擱筆、公開

『共感覚幻想曲 I』 (SYNAESTHETIC FANTASY I)・・・

<http://ij-art-music.com/s/synaesthetic.mp3>

音源

モデルさん・・・二十代前半の女性一名

場所・・・浜離宮庭園

制作期間・・・二〇〇七年十二月一日～十二月十六日。

背景にふさわしい場所を選びつつ、モデルの女性に椅子に座っていただき、移動しては再びじっと座っていてもらう、ということをし繰り返して、女性を紙とペンだけで、音や絵や文章によりスケッチした。その後、それらの草稿に忠実に、全てを音楽的な音に書き換え、それをなるべく一般的に聞けるような調性音楽的な曲に仕上げた。（ただし、その女性への共感覚とこの曲とが完全に互換可能な範囲を保つようにした。） そのため、「一般的に聞けるように」する手前までを僕の芸術表現の最終目的とするなら、僕がやったことは「作曲」でさえないとも言えるかもしれない。生身の人間を目の前にして、自分の共感覚を偽りなく発揮せざるを得ないという状況に身を置いてみたらどうなるか、という一種奇妙な関心が自分の中にあつたが、予想していたよりは自然体で描け、共感覚を生かせたと思う。今回は、背景が変わっても曲の構造が大きくは変わらないような仕

方で、その女性自身を描くことに集中させてもらった。

画家が女性や風景を写生する（視覚→視覚）のと違って、女性を音に写実するなどというのが（視覚・共感覚→聴覚）そもそもどういうことか、一般的な感覚からすれば信じがたいことかもしれないが、それはブログに綴っている文章などを参照いただくとして、反対に、僕がやっている芸術行為の利点は、一言で言えば「必ずしもヌードを必要としない」ということに尽きるのだと思う。言い方を変えれば、非共感覚者が眼で見て初めて捕捉できる知覚情報が、僕の場合には眼で見なくても捕捉されている、そういう知覚領域というのがあ。ただし、それを別の仕方の説得力を持って語るには、目の前に本当に女性を置いて芸術に訴えてみるしかないのではないか。じれったいが、改めてそう思わされた機会であった。

厳密に言えば、一対一の写生・スケッチの時間を媒介しているから、「再現の再現」、「写本の写本」であって、僕の中で鳴っている「音楽」とは異なっており、光や音波が混じっている共感覚を全部「一般の聞き手の耳に耐えうる西洋音階の音」に直したという時点で、「被写体に対して自分が偽っている」というような罪悪感があり、ほとんどそれとの闘いという気もしている。（音楽にした時点でおしまいだ、と言っても過言ではない。）次は、今回以上に被写体に忠実に、かつ日本の音楽の論理に従って女性を描いてみたいものだ。

『共感覚幻想曲 II』 (SYNAESTHETIC FANTASY II)

第I楽章・・・

<http://ij-art-music.com/s/synaesthetic2-1.mp3>

音源

第II楽章△b△font△・・・

<http://ij-art-music.com/s/synaesthetic2-2.mp3>

音源

モデルさん・・・二十代前半の同じ女性一名

場所・・・神奈川県内の色々な公園（普通の公園、運動公園、日本庭園）

制作期間・・・二〇〇八年四月五日～四月二十六日。

前回以降、桜の下で同じ女性のスケッチを行うことを何となく考えていて、その実現ということだが、その女性自身を描くことと、桜をはじめ背景の緑や空や水を描くことを、どのような割合でどのような組み立てにしていくかに腐心した。

女性を（イメージで作曲するのではなく）共感覚によりスケッチして音楽にするという芸術行為の例は、今のところ自分の例しか聞いたことがない上、厳密には、いわゆる作曲とも異なる芸術行為であ

って、何と呼べばよいかも思い付かないから、正直なところ、共感覚研究者からはどうしても卑猥な感想なり、そういったニュアンスのものを受けてないわけではない。

しかしこれは、逆を言えば、共感覚を持たない男性（「視覚」がそのまま「網膜で世界を知覚すること」を意味する男性）にとつては、眼で「衣服を着た女性」を見たときと「そうでない女性」を見たときとは、脳の中で実際に起こっていることに大きな落差があることを意味するかもしれない。すなわち、僕が前者の女性を目視した（共感覚でとらえた）ときにすでに把握している身体情報なり生命・生理現象、あるいは僕の脳内で起こっていることが、非共感覚者の男性にとつては、女性に後者の状態に「なってもらって初めて」把握できることである可能性がある。この点についても、論文や本にすべく、体験などを踏まえつつ大量に文章を書き溜めているが、いずれ表に出したい。こうしてみると、音楽は実に無力だ。そこは言葉に頼るしかない。

いずれにせよ、「女性を絵画に写実する、あの感覚」というのは、現代の男性の脳にもおしなべてあるというのは僕にも分かるが、「女性を音に写実する、あの感覚」は、ほとんどの男性には全く感覚されていらないということになる。「目で見て、人や風景を写生する、あの感覚」と全く同じ次元において、「目で見て、人や風景を音に写生する」ということが、人間の脳と体には元々あったのだということ、

いかに文章によって理系研究者に説明するかに、最近では腐心している。「目」は「光」を見るものではなく、「光」の存在自体、共感覚を失って以降の人間の「目」と「脳」が作ったものである。さらに、僕には、日本女性の生命現象なり生理現象から鳴っている音というのは、厳密に言えば、西洋音階のドレミに適用できるようなものは一切鳴っていないと知覚されている。そもそも、色や音や匂いなどに分けることが難しい。今のいわゆるヒーリング音楽というものは、倍音だとか協和音だとかの研究に腐心しており、それらが万人の脳と体に良いとして、日本でも国民全体がそれに乗っかっているブームがあるが、これをそのまま続けていくと、日本女性の生理現象が狂うときが来ることが目に見えている。これが本当に「見えて」いる男性が、声を上げないと駄目である。これらの中に、共感覚を失っていながらも気付いている男性研究者は何人かいるにはいるが、まだまだだと感じる。西洋人の脳や体に良い音楽が、そのまま日本人や東洋人の脳や体に良いはずがない。日本の女性をそのまま音に写し取ったら、西洋音階に当てはまるところもある、というだけのことである。

スズムシやウグイスの鳴き声を聞いたとき、西洋人には日本人に聞こえるような聞こえ方で聞こえていないこと、動物の知覚は全て主観的体験であることは、ずっと言われてきたことであるが、実際に脳の働き方を調べた研究で、西洋人と日本人の脳で全く違うことが起こっていることが分かり、「知覚の主観性」はある程度は知られる

こととなった。それと同じような、脳と体の知覚メカニズムの落差が、同じ日本人男性の中で起こっているのであろう。

いずれにしても、絵画では同じ女性モデルを描き続けることのほうが普通であるし、いわゆる写真というものに至っては、大変な量産型思想で、被写体そのものの美への共感的な傾聴よりも、被写体を独立的な視覚において商品化することが行われていて、残念極まりないことを考えれば、女性を音に写生することをたしなむ男性の数だけが脱落しているのかもしれない。その意味では、人類から共感覚が失われて、最初に崩れるのは、視覚的な「絵画」でも「文学」でも「写真」なく、「音楽」であるかもしれない。「音楽」は原始芸術である。もともと、かつての文語短歌（特に万葉時代や歌垣の時代）や能という芸術は、それを国民レベルで実現していたものであるから、いわゆる「音楽」よりは、「文語短歌」や「絵画」や「能」や「禅」や「象徴主義絵画」などといったもののほうが、僕が行っていることに近いと言えるであろう。ちなみに、文語短歌についても、これまでも数百首を書き溜めているが、作曲とそれほど異なる芸術行為だという感じがしない。

女性の性周期の聞こえ方

二〇〇九年五月十一日 起筆、擱筆、公開

女性の性周期が僕に共感覚でどう聞こえているかを音にしました。
(全員、二十代女性)

ユーザー名：music パスワード：ippan どういうぞ。

<http://www.ji-art-music.com/s/seishuki1.mp3> (Aさん、月経中の様子)

<http://www.ji-art-music.com/s/seishuki2.mp3> (Bさん、月経中の様子)

<http://www.ji-art-music.com/s/seishuki3.mp3> (Bさん、排卵の様子)

<http://www.ji-art-music.com/s/seishuki4.mp3> (Cさん、排卵の様子)

<http://www.ji-art-music.com/s/seishuki5.mp3> (Cさん、排卵直前の様子)

いわゆる聴覚の音と共感覚の音は、僕には違うものとして聞こえています。共感覚音の大きさが相対的にどれくらいものかが分かりやすいように、擬似の心音を冒頭に十回入れておきました。女性の手首で脈を取ったときの心音の触感を、音量に置き換えたものと思ってください。

難しいところも、なんとか電子音を駆使して近い音にしていますが、そもそも女性の体内には電子音はありませんし、僕にはもって完璧

な美しさで映っているので、音での完璧な再現は不可能です。

いつも自分の対女性共感覚について、女性看護師さんにお話させてもらうなど、他の人の専門的な目が入るような機会は持っています。が、実際に見えている（聞こえている）共感覚だけは自分にしか分からないので、こうして表現する以外にないです。

そういえば余談ですが、用語について。正式な医学用語は「月経」で、「生理」は俗語あるいは婉曲表現なのですが、以前、周囲の女性に、どちらの語に「俗的なニュアンス」、「男性に軽く使ってもらいたくないという感覚」を覚えるかを尋ねて回ったら、見事に真つ二つでした。だから、学術用語だから良かれと思って「月経」を使っても、親しみやすいから良かれと思って「生理」を使っても、結局はもう半分の女性は異なるニュアンスを覚えているというわけなのです。

僕と普段、「生理」の語でやり取りしている女性がいるので、なぜ自分がサイトでは「月経」としているか、念のため書いておきます。どちらで書いても間違いではなく、とりあえず僕は、正式な医学用語である「月経」を使っている、ということなんです。（いやはや、日本語は難しい……。）

それから、サイトやブログに載せている、対女性共感覚に関する体験やデータその他は全て、女性本人の了承を得ているものです。

『花・共感覚者五十人による』

二〇〇九年五月十七日 起筆

二〇〇九年九月十日 公開

二〇一七年三月十三日 最終更新

『花・共感覚者五十人による』

作曲・岩崎純一

以下の五十人の共感覚者に見えている「花」という漢字の色を、私がさらに共感覚で聴いて作曲しました。

（ご参加下さった五十名の方で、音楽に色が見える共感覚をお持ちの方がいらっしやいましたら、この曲に見える色を教えてください。形や景色・映像・おいなどでも結構です。以下の画像の横に書かせていただきます。）

★曲を聴く (mp3)

「花」bmp ファイル（この画像に色を塗っていただきました。）

花

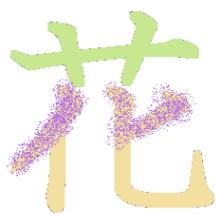
現在ご参加いただいている方の「花」の色

（敬称略。★は男性。） ← ←

「花」の字に見える共感覚色（参加者のニックネーム）
見える共感覚（皆さんからいただいた感想を要約）

曲に

愛 「全体的に神社やお寺の中にいるときの感覚がする。茶
色・緑・黒・朱色など。だっただっ広くて、涼しい。」



あお 「全体に黒に近いような深緑が中心。（この深緑のような色

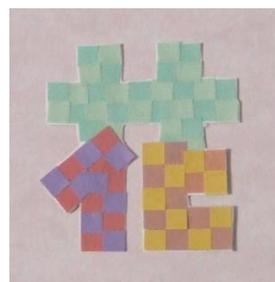
は、私の変ホ短調の色で、すごく静かな夜の森のような色。） 最初
は、真夜中の誰もいない広い平野のような所が浮かんだ。空が高く、
濃い灰色と紺色と深緑が混ざりあったような色をしていて、空気は
とても澄んでいる。二分四十秒のあたりで、洞窟の中に場面が変わ
った。それほど幅は広くない一本道の洞窟が、奥へ奥へ・・・と続い
ていて、足音が響いている。左右の壁の石が鈍く光っていて、音楽
と共に、その光がぶつかり合って新しい色を生み出しているように
見えた。後半は、黄色、淡い紫の入った白、時々赤やオレンジが見
え、それから最後は、また深緑へと戻っていった。」



葵 「ちょうど私の「花」と同じチェック模様のように、色は
さまざま。」

花

茜 「最初の勇ましい部分から、リズムがややこしい部分に変わるときに、深い青色の寂しさがする。花がしおれ、木造の建物が朽ち果てていくような寂しさ。全体的にも、リズムの複雑さが、不規則なしおれ方、朽ち果て方を表している。私は絶対音感があつて、一見すると短調の曲かなと思つたが、よくよく聞くと、変ホ短調・変ロ短調・律旋法・フリジアンモード・ドリアンモードなど、いろいろな調に20回くらい転調があつて、それぞれ異なる色に見えた。全体としては、一つのまとまった、とても深い青緑色に見えた。」



あくゆん

花

あや 「妖艶な桜。ピンクの桜の花だけではなく、薄紫色の桜の花が散っている風景が浮かんだ。」

花

あやこ 「私は色から音は聴こえないが、“花”という字はメジャーのイメージだったので、反対にマイナー中心で驚いた。こういった複雑なメロディやハーモニーを、共感覚で音が聴こえる人ならば作れてしまうのかどうかに興味がわいた。」

花

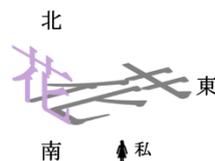
彩乃 「電車のホームで大切な人を見送るときの、プシューっとドアが閉まったときに覚える、世の中が終わるんじゃないかという、あの紅色の匂いや風景が出てきて、寂しかった。喜怒哀楽のうちのどれだかはっきりとはわからない、不思議な曲だった。」

花

杏

花

エミ 「私の画像が出てくる部分の音は、私の描いた“花”より少し濃かったので、面白かった。曲全体としても、薄紫色で落ち着いた色だった。」



西

えりか

花

かおり 「水色の部分が多かった。私の「花」に塗ったような水面模様。ゆっくりのところは、水面もゆらゆらと揺れ、激しいところは、水面も激しく揺れている。」



果穂 「ほぼ私の“花”の色の通りに聞こえた。ただし、皆さんそれぞれの“花”を見ながら聞くと、それはそれで合っているように見えた。花の景色だけでなく、時々いろいろな種類の鳥も出てきた。その鳥たちも、それぞれ違った色をしている。でも、かわいいというよりは、美人の鳥。曲全体が、美人の鳥のように妖艶に作られていた。」



きらら 「団扇で自分がおおがれている気がした。風の色は青や緑。」



小夢 「最初のほうは焦げ茶色が中心、静かになったあとの和風などところは、もっといろんな濃さの茶色の混ざり合い、残りは、紅色・黄色・肌色が中心の風景」



さゆり 「“花”の字に青系統の色を塗った方が多くて、嬉しかった。曲も、青や緑色の部分が半分ほどあった。アメジストのような透き通った色から、夜の闇に近い深い色もあった。」

花

静

花

しの 「私は絶対音感がありますが、
ツチして聞こえた。」
転調の変化と色の変化がマ

花

シュリ

花

すず 「聴いていたら、頭の中に和風女性が出てきた。全体的に
その景色。」

花

ちー

花

ちよろ子 「森の道を歩いている感覚があるが、狭苦しくな
い、ある程度広々とした空間（すき間）のある森。そこでいろいろ

な色の“音”を拾いながら、歩いていく感覚。曲調が変わるところで、また次の色を拾う。それが最後には宝石のように集まり、腕全体で抱えたまましばらく歩いて、池のほとりにある箱に入れる・・・そんな景色が浮かんでくる曲だった。」

花

つれづれ

花

によこ 「基本的に昔から共感覚者が作りそうな曲というのが私の中にあって、この曲もそういう気がした。」

花

ひたひた 「だだっ広い公園で寝そべって、空を見上げている様子。でも、空は青ではなくて、桃色や黄緑色など、いろいろな色。ただし、晴れている。晴れすぎてもいない。」

花

ぴっこ

花

ひな 「最初のジャッジャッジャの箇所から急に花が舞う箇所に移るところが、涼しい風が顔に吹いてきたときの味にそっくり。」

花

★Masao

花

花

まなりん 「海のイメージか、山のイメージか迷ったが、海も山も見える場所に自分がいるときに頭の中に流れてくる曲だな、と思った。曲の色も、深い青と、深い緑とが中心。」

まや

花

まる

花

花

みさ 「純一さんの和歌の世界と、この曲のイメージとが、ピッタリ合っている感じがした。同じ共感者から出ている芸術だというのがわかった。曲の色は深緑色。」

花

めい

花

みづほ



みそ 「夜、部屋の窓を開けたときにファツと入って来る風のおいの色。その色や、向きなどは、曲調が変わると、一緒に変わる。琴が入ったあとの一斉にオーケストラやピアノが鳴るところは、水色を中心としたあらゆる色の風。」



ゆつきー 「桜が散って、水面に落ちていく様子が見える曲だった。全体としても桃色の曲。時々、紅色や赤紫色の濃い色も見えた。」

花

ゆづき



ゆこち さらに、この曲に見える色を描いて下さいました。ありがとうございます。

ゆんゆん 「静かなところが多い曲なので、子守唄のようだとも思ったが、それよりは芸術品、という気がした。鼓動を落ち着かせるというよりは、鼓動が速くなる気がした。でも、それがイヤな感じではなく、自分から浸っていきたいような、美しい水晶の色だと思った。私には、曲の全体が、その水晶にいろんな角度から月明かりが照って、キラキラ光るイメージに思えた。」

花

りん

花

Alice 「野原に寝そべって、雲の上に何かあるのだろう、と考えているときの感覚を、音で説明すると、純一さんの曲になると思った。“高い”、“広い”というよりも、まさに“この曲の色！”で説明

になっっている気がする。小さい頃は、雲を色んな色に塗って先生に怒られたが、色鉛筆を持って外に出てみると、雲は本当に赤だったり紫だったり青だったりするのに。その反抗的な感覚を、曲が説明してくれて、共感者も人間だと認められた気がした。」

花

hu

花

Kei 「色々な果物を食べているときの、口の中で味が変わっていく様子が、この曲の曲調が変わっていく様子。果物を並べると、この曲の構成になるので、楽しかった。」

花

By 「ピアノの音。いろいろな花が散っている様子。一つ一つの音が、一枚一枚の花びらに対応している様子が浮かんだ。一つ一つがすべて違う色。」

花

Nori 「リズムが不思議な曲だった。紫色のリズムと茶色のリズムが聞こえる。リズム以外の要素も、紫色と茶色が基本だった。」

花

opus 「冬の寒い日の澄んだ空気をたたえた夜を感じた。でも、キラキラ輝く桃色の花びらが舞っている感じもした。この美しさは、素数に似ている美しさ。テレビで流れているような曲とは違う感触がした。」

花

peko



Reach

花

Rina 「皆さんと同じで、和風の曲だと思った。ピアノ以外ですつとポロポロと鳴っている音が水の雫に見え、花びらの上で跳ねるたびに、その花びらの色に染まる様子が見えた。夜寝る前に聴きたい曲だという気もするが、逆に興奮して眠れず、夜にしっかりと起きて聴くべき曲だと感じた。」

花

★岩崎純一（管理人・作曲する人）

花

音楽に見える共感覚色や時空間における位置

二〇〇九年七月十四日 起筆、攔筆、公開

音楽についての僕の共感覚を、YouTubeを用いて語る。自分の音楽趣味がバレてしまうけれど！？

「あの頃へ」安全地帯

<http://www.youtube.com/watch?v=vfoGfQnoH3c>

この曲は、僕の頭の中で、青紫色で、西方向、230メートル先、にストックしてあります。（余談。玉置浩二氏、この曲を贈ったご相手とのご結婚、おめでとございます。）

「初めて出逢った日のように」中森明菜

<http://www.youtube.com/watch?v=zj9zAbYJ9dg>

この曲は、ものすごくはっきりと色が見える。青緑色、青碧色、青紫色といった、青色基調の音であり、何度も出てくるコード CM7 のときの響きは、青色の美しさが尋常ではない。僕は、音楽を聴きながらコードが分かるので、いつも色が綺麗な曲のときは書き留めています。北方向、360メートル先。

「陽炎」中森明菜

http://www.youtube.com/watch?v=R_ZfwONk0Lk

この人や、山口百恵のような女性は、もはや日本では希少価値でしょう。周りにこういう女性がいないので、本当に呆れ返りますが、共感覚者の女性で、何人かこういう方に出会って、私は安心してい

ます。香色（こういろ）、紅梅色、牡丹色、蘇芳色（すおういろ）の混合。北西、290メートル先の歌謡曲の時空間にストック。

「Metal God」 Judas Priest

<http://www.youtube.com/watch?v=YeqsR314erg>

共感覚を軽蔑されたときに、やり返す代わりに、聴いている曲。半分冗談ですが。共感覚に負けそうになったときに、気合いを入れるために、世話になっています。ああ、いつもここを読んで下さっている方の僕に対するイメージが崩れるかな（苦笑）。根っからの演歌とヘヴィメタ趣味なもので、許して下さい。東方向、ヘヴィメタル時空間の焦げ茶色、690メートル先にストック。

「恋の予感」安全地帯

<http://www.youtube.com/watch?v=43735vhs9c>

群青色、白色、黒色の混合。北方向、1060メートル先の上空にストック。

「恋草紙」香西かおり

<http://www.youtube.com/watch?v=G0KgmNKyZHE>

群青色と滅紫色（けしむらさきいろ）。南西、620メートル先。「浮舟になろうか、お軽になろうか」・・・

「こむたいな」香西かおり

<http://www.youtube.com/watch?v=xV70vwwMG0hM>

「無体」は、仏教用語として使われることが多いと思うが、どうもここでは「こむたいな」と形容詞化し、それに「なあ」という意味で「な」を使っているような気がして、ずっと前から気になっていたんだが。南、580メートル先の深緑色の曲。

「花」という字の共感覚色を募集

二〇〇九年七月十五日 起筆、攔筆、公開

花

<http://www.ji-art-music.com/hana/>（「花」特設ページ）

突然ですが、「花」という漢字に見える共感覚の色を募集します。リンク先の図を使うか、ご自身で自由に画像ソフトで作って添付していただくか、色を言葉で説明して、私のメール宛てに送って下さい。（私に色が伝達できれば、どんな形式でもよいです。手書きのす

キャンでも何でも。）

何十個が集まったところで、私がそれらを、私自身の共感覚を使いまして、ちゃんとした音楽になるように並べ替えて、作曲します。様々な色で「花花花・・・」と続くわけです。

ちなみに私は、「花」の漢字の色は、草冠が紅紫、化の部分が薄桃です。色とりどりの花をお待ちしております。曲ができれば、皆様の「花」の順番と一緒に公開します。ハンドルネームだけは名乗って頂けるとありがたいです。それから、5・7・5・7・7と並べ替えて、いくつか和歌も詠むかもしれません。

ありそうでなさそうなスタイルの共感覚芸術だと思い、やってみようかと思いいちちました。

ブログの表示&「花」

二〇〇九年七月十六日 起筆、攔筆、公開

環境によって、このブログがうまく表示されないようなので、無難なデザインに戻しました。本文だけが下のほうに行ってしまうことがあったみたい。今まで苦勞してご覧になっていた方々、すみませ

ん。

「花」の共感覚色の件ですが、画像の添付ではなく、色を言葉で説明してメールしていたたく方法でも良しとします。その場合、私が画像を作成して、特設ページに載せますので、あまりに違う場合はおっしゃって下さい。

「花」の件

二〇〇九年七月二十日 起筆、攔筆、公開

「花」の件ですが、色々な「花」が集まってきました。皆さん、ありがとうございます。

<http://www.ji-art-music.com/hana/>

方が一、送ったのに、僕からの返信がなく、掲載されていないという方がいらっしやいましたら、再度メール下さい。

それにしても、並べるだけでも価値がありますね。美しいです。わざわざ色紙や画用紙に描いて下さった方もいて、嬉しいです。

時々、共感覚者でない方々が、「花」という漢字を花に「見立て」て、イメージや連想だけで色を塗り、送って来られることがあります。これも共感覚者の勘なのか（？）、僕の実力なのか知りませんが、だいたい文章を読めば、「ははくん、これは共感覚じゃないぞ」というのが読み取れてしまい、ちよつとイジワルな（？）質問を投げ返して確認すると、案の定、共感覚者ではないというわけです。僕に指摘された方、ごめんなさい……。悪気は無いのですが。真剣に取り組みたい芸術的な試みなので、ご了承下さい。

ちなみに、本当に共感覚者かどうかは、相手の顔色・目付きからは簡単に分かる場合がほとんどなのだが、相手のメールの文面からでも、本当に共感覚者かどうかを読み取れてしまうことも多い。

「花」の締切日&説明

二〇〇九年七月二十四日 起筆、攔筆、公開

現在、二十八個の「花」が集まっています。五十個集まるか、七月三十一日（の二十四時）が来るかしたら、締切ることになります。（ただ、曲には使わないものの、「花」の収集は続けようと思います。）最初にたくさん来たので、五十個まで行かないかもしれません、曲に使われない方はお早めにどうぞ。

それから、エミさんの花の説明です。ご本人の説明を要約させていただきます。

「私にとっての花の字の説明です。まず、南西を向いた薄紫色の花の字に日が当たって、うしろに花の影ができています。二十代になった今でも、いつも頭の中で、影の上に行って、かけっこをして遊んでいます。（太陽の位置によって、影も動きます。）ただ、普段は字を南東から見ているので、いつも文章の中で花の字が出てきたら、首を右にかしげたり、本を右端から見たりして、自分が花の右に来るようにします。そういう、方角の決まっている漢字が百個ぐらゐります。文字ごとにも方角が違ふと、苦しくなつて文字が読めません。それで、仕事で失敗することがあります。」

この感覚や行動は、今まで友人以外にはほとんど誰にも理解されなかつたようですが、僕や他の共感覚者になら分かるから、全然心配はいらないのです。少なくとも僕には、何を言っているのかがよく分かる。仕事で失敗しても、「ミス」とは違うのだから、気にすることとは無いです。たいしたことじゃありません。むしろ、こういう共感覚を持ち続けて生きることが、「たいしたこと」「すばらしいこと」です。実に美しいものです。いつまでもかけっこして遊んで下さい。

他にも、sandoさんや愛さんのような文字の一部に見える霧状の模様、

葵さんのようなチェック模様など、皆さんそれぞれにすばらしいです。

過去のブログ記事の整理

二〇〇九年七月二十七日 起筆、攔筆、公開

過去のブログ記事の整理がずっと遅れていたのですが、以下のページにまとめました。サイトのトップからもリンクしています。

<http://www.ij-art-music.com/bloglog.html>

「花」もどんどん集まり、嬉しく思います。ここまで綺麗なものだとは思ってもみなかったのですが、正直なところ、五十個で止めなければならぬのが苦しいです。

「花」の募集を停止しました

二〇〇九年七月三十一日 起筆、攔筆、公開

三十一日、ちょうど五十個に届きました。募集を停止しました。皆

さん、綺麗な「花」をありがとうございます。お一人だけ自閉症の男性の方が参加されました。

では、作曲に入ります。

「花」の曲の掲載

二〇〇九年八月十二日 起筆、攔筆、公開

「花」の曲は、二十日頃に掲載します。

また、掲載しましたら、その曲が何色に見えるか、などについても皆さん同士で比べると面白いと思ったので、ぜひ教えて下さい。元の皆さんの「花」と並べて、また言葉や絵で載せたいと思います。

『花 く共感覚者五十人によるく』を掲載！

二〇〇九年八月二十日 起筆、攔筆、公開

「花」の曲を掲載しました。wmv形式の映像も載せました。

なかなか難しかったです。とても楽しかったです。

私には、この曲が流れ終わるまでに、五十人の「花」の色全てが見えているわけですが、言葉では説明不能なので、映像にしてみました。

それにしても、私も含めて、普通、「音に色が見える共感覚」をお持ちの共感覚者は、一つの曲や各单位に対しておおまかな一色か数色だけを答えるわけで（「青い曲」「赤い和音」など）、逆にこうして30個も使って自分で作曲してみると、かなり「色とりどりな」や「やこしい」展開になりました。

映像をご覧になって、もし「私の花が一度も出てきてない！」という方がいらつしやいましたら、教えて下さい。（無視したわけじゃないです・・・）

交響組曲 『月ノ巡リ』 (Symphonic Suite “Female Menstrual Cycle”)

全てのモデル女性及び岩崎純一
二〇一〇年六月二十一日 起筆
二〇一〇年七月二十四日 公開
二〇一七年三月十三日 最終更新
岩崎以外の全ての参加者は、当該楽曲のため身体を用いてポーズ

をとっており、このポーズは著作権が発生する「舞踊又は無言劇」(著作権法第十条第一項)に該当すると推定される。

全ての著作者の著作者人格権を侵害しない限り、CC BY-NC-ND 4.0

●作曲：岩崎純一

●ご協力モデル様(二〇一〇年現在)：サイトを訪問下さった十人〜三十一歳女性四人(綾乃様、Yuka様、吉川りせ様、ポチ子様。増加予定)

■この交響組曲の概要

■対象とする女性、及びご協力のお礼について

■作曲方法

■試聴

■この交響組曲の概要

この作曲の試みは、衣服を着た女性を目視するとその女性が性周期のどこに位置するか(排卵期・月経期など)が分かる感覚を持つ私が、サイトを訪問下さったことがきっかけで面識を持った知人女性の皆様の性周期を実際に感知し、作曲スケッチをする試みである。感知可能な女性は、成人女性のおよそ三十〜五十%に当たる。

この感覚は、女性を「見た」際に性周期が色彩（視覚）や音声（聴覚）や触感（体性感覚）などの混ざり合いとして感知できるものであるため、生理学上で脳計測などにより実在が証明されている「共感覚」の一種と見ることができ、その観点から、自ら暫定的に「対女性共感覚」と名付けている。

この感覚について、著書の中で告白しているほか、大学の共感覚研究者・疫学者・看護師・昔の男性の実状を知る女性（巫女・年配女性など）にも報告。男児を育てる母親からもご連絡を頂き、男児においてはこの感覚がごくありふれたものである可能性を確認しており、古代男性・霊長類のオスにもこの感覚がかなり普遍的に共有されていた（いる）可能性があると思う。

現代日本では、この感覚を持っていないが私のように比較的一般的な社会生活を送っているいわゆる定型発達の成人男性は、ほとんどいないか、社会から淘汰された可能性もあると思う。反対に、体温計などの高度技術なき太古社会においては、むしろ成人男性はこのような性的能力を自然に持つていなければ他の動物のオスに太刀打ちならなかった可能性もあると思う。

この「交響組曲」は、私のこの感覚を芸術に昇華する試みであるほか、エストロゲンなどの女性ホルモンの分泌の仕方と私が女性に対して覚える共感覚とがいかなる関係にあるかを被験者の女性と閲覧者の女性の皆様に、（音楽作品として鑑賞を楽しみながら）実際の体感と比較し、分析していただく試みも兼ねている。性質上、芸術性と芸術性とを分ちがたく、公開方法はまだ暫定的である。

むろん、ここに載せているのは、載せる許可を下さった女性についての音源であるため、かなり偏りがあることは承知している。しかし、他の閲覧者の女性の皆様が同性として「このように聞こえているのか」と予想を付けて下さる指標くらいにはなると思う。

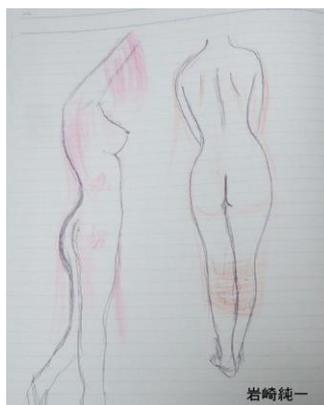
■対象とする女性、及びご協力のお礼について

●日本人女性のみを対象とする。ここでの日本人女性とは、「日本語が母語（日本列島が故郷）であるとのアイデンティティーを有する身体的女性であること」であって、「日本国籍を有すること」や「日本に居住すること」ではないが、現在の協力者は皆、日本国籍で日本に居住する日本人女性である。

●当日の内容は、被写体女性の時間的・身体的・精神的なご都合に沿って決めていたため、あらかじめ謝礼などは決めておりませんが、場合に依りてお車代・謝礼などをお出し致します。

■作曲方法

（１）自分の共感覚で見えている女性の月経・排卵の色の様子をおまかにスケッチする。（女性を衣服の上から共感覚で目視するもの、なるべく忠実に裸体の状態を描く。）



(2) 楽曲編成・楽器編成を考えながら、細部を忠実に絵や言葉で描く。

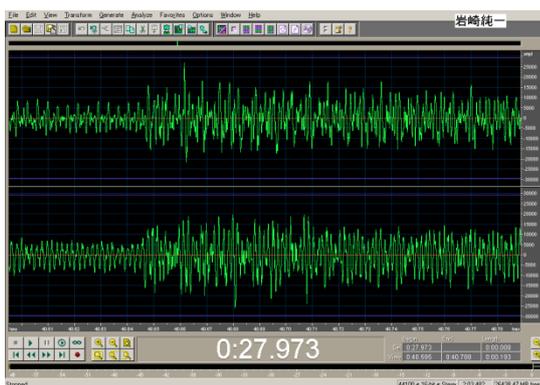
(3) スケッチしたものを音に写し取る。和声法・対位法・管弦楽

法など正規クラシック音楽の作曲理論と管弦鍵打楽器で表現しうる月経・排卵については、これに従う。ただし、クラシック楽器の音で忠実に再現できない月経・排卵の様子は、シンセサイザーを用いて再現する。これは、「女性の身体がデジタル音・電子音を発している」という意味ではなく、「究極のアナログ世界である女性の身体をそのまま再現することに用いるには、西洋クラシック音楽の理論と楽器はあまりにも西洋白人本位のデジタル的な構造をしており、とりわけ日本人女性の性周期をありのままに、アナログのままに再現するためには、どんな音でも生成できるシンセサイザー・電子音楽技術を使うしかない」との姿勢からである。

midi シンセデータ、wave データ

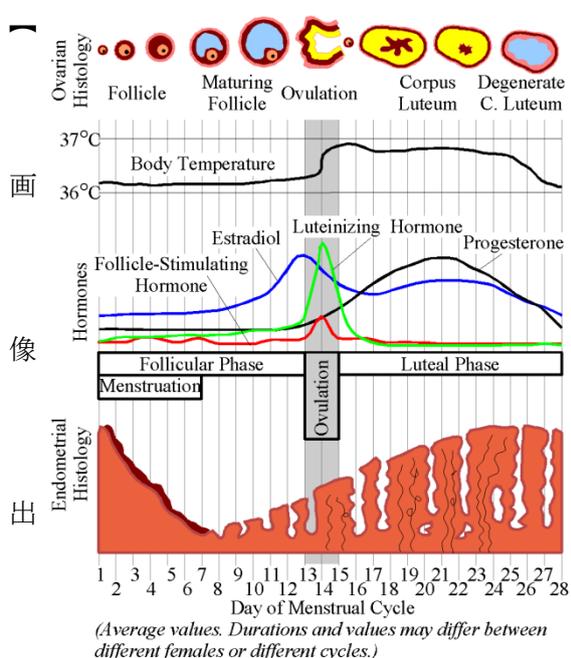


(4) 完成した音楽の波形編集・分析をおこなって、最終確認をする。(稀に、自分の作曲した音楽から、それまでに気付かなかった排卵を発見することがある。他の動物のオスは、このような方法によらずとも、本能的に感覚能力だけでそれを発見しているのだと思われる。)



■ 試聴

性周期の図(クリック拡大)。各曲の数字は下図の日に一致。
MenstrualCycle



<http://fr.wikipedia.org/wiki/Fichier:MenstrualCycle.png>

■ 序曲 (Overture)

録音中

- 第一組曲 (Suite 1)
- 月経の様子 2・4 交響組曲 『月ノ巡リ』
- 月経の様子 3・5 交響組曲 『月ノ巡リ』
- 排卵の様子 14 交響組曲 『月ノ巡リ』
- 排卵の様子 14 交響組曲 『月ノ巡リ』

排卵直前の様子 12 交響組曲 『月ノ巡リ』

■第二組曲 (Suite 2)

卵胞期半ば 6・9 交響組曲 『月ノ巡リ』

黄体期半ば 21・24 交響組曲 『月ノ巡リ』

■第三組曲 (Suite 3)

LHサーージ前夜 12 交響組曲 『月ノ巡リ』

LHサーージ 13 交響組曲 『月ノ巡リ』

引き続き制作中

音を「見る」ことがあってもいい ・ 「共感覚」とは何か ・

二〇一〇年二月二十五日 起筆

二〇一〇年五月七日 攔筆

二〇一〇年十月一日 刊行

外部刊行者が刊行済み。「音楽文化の創造 (CMC)」五十八号 特集「音楽と心の科学」(公益財団法人音楽文化創造、二〇一〇年)を見よ。

入手困難な場合、個別に岩崎まで問い合わせよ。

以下、

二〇一〇年十月二十六日 起筆

二〇一〇年十一月五日 公開

二〇二〇年八月二日 追記修正

なお、この刊行物内では、「障害」が「障がい」と表記されており、岩崎の当該論文においても「障がい」の表記となっているが、これは公益財団法人音楽文化創造及びこれに所属する編集者の方針である。

岩崎は、国語学・言語学の観点および自身の著作・執筆方針から、「障害」と表記し続けており、この財団法人に対しても「障害」の表記で原稿を提出したが、「障害」は「障がい」の表記へ変更され、一度も校正作業や説明のないまま刊行された。変更の事実は、刊行後に自身の原稿部分を読んで初めて知ったところである。

著作権法や民法の規定は、当然ながら一財団法人の意思や方針に優先されるのであるから、公益財団法人音楽文化創造の行った行為は、著作権法違反及び民法違反である。また、一般財団法人の公益認定等に係る諸法令の観点においては、公益財団法人音楽文化創造の行った行為は、障害者を含む国民一般の公益のために事業を行うべき公益財団法人としての責務を欠くものであり、これらの諸法令の意義に反するものである。

一方、岩崎としては、本件はたった一文字をめぐる問題でもあり、

著作権法違反による損害賠償を求める性質のものではないとも考える。

従って、岩崎は公益財団法人音楽文化創造に対し、書面にて嚴重に抗議するにとどめていた。

しかしながら、同財団からは、「同財団は“障がい”を“障害”と表記する執筆者を差別主義的であると考えており、誤った表記の一方的な訂正は、執筆者に対する親切な教育であると考えている」旨の回答を得た上（この回答は、原稿の執筆依頼の前に、執筆者に対し、そのような方針である旨を知らせず、隠して著作物を改変し刊行したことに矛盾している）、本件に関する同財団の法令違反の意識の保持が確認できなかったため、岩崎はここに経緯及び結果を公表するものである。

簡単ながら付言しておくとして、「障害」の語は、「disorder」の翻訳語として、深い吟味の結果生み出され、使用されてきたもので、差別用語でないばかりか、「障碍」や「障がい」と書くよりも正しい。

第三編 三十歳〜三十九歳

約五十曲分のMP3を掲載しました。

二〇一二年十月二十二日 起筆、摺筆、公開

（二〇一八年七月十五日追記…現在、岩崎の旧サイトの内容は『全

集』に収録。）

サイトの作曲・音楽のページに、私が作曲した曲の試聴データを載せました。

過去のCDに収録した曲や映像に付けた曲など、権利関係上、音質を落としてあるものもあります。

個人的なご鑑賞の範囲内でダウンロードして音楽プレーヤーでお聴きになるなどは、ご自由にどうぞ。

<http://iwasakijunichi.net/music/>

音楽（ダウンロード購入）御見積り・御注文フォーム

二〇一四年二月三日 起筆

二〇一四年二月二十七日 公開

二〇一七年六月十日 最終更新

※ 既存曲のご購入には、このフォームのご使用が便利です。

音楽（ダウンロード購入）御見積り・御注文フォームのご使用方法

音楽（ダウンロード購入）御見積り・御注文フォームを使用する

1. 送信者の情報を入力する
2. ご希望の楽曲を選択する
3. その他のお問い合わせ内容を入力する
4. 送信内容を確認して送信する

■御見積り・御注文フォームのご使用方法

※ 当フォームの送信によりすぐに注文・課金処理がなされることはございません。
(まずは見積書を発行させていただきます。)

ご注文後も、納品および納品書・請求書の発行まではご注文のキャンセルが可能です。

- ◆ 楽曲の購入・使用のご要望、作曲・編曲のご依頼について
- ◆ 試聴ページはこちらです。

※ このフォームからの送信内容は、公式メール（学術関係、仕事のご依頼など）についてと個人メール（ご質問、私信など）についてにある私（岩崎純一）のアドレスのみに届きます。

※ このフォームを使わず、上記のメールアドレス宛てにご自由な文面・形式でお送りいただいても結構です。

※ 私からの返信が受信されない場合は、お手数をおかけ致しますが、メールアドレスの項目の注意事項をご確認の上、再度ご送信いただければ幸いです。

■御見積り・御注文フォームを使用する

◆1. 送信者の情報を入力する

◇ ご氏名 ※ 必須

● ご本名をご入力下さい。

（現在、匿名でのダウンロード販売には対応しておりません。ご了承下さい。）

◇ メールアドレス（半角） ※ 一つ目は必須

● 見積書を添付し返信させていただきますので、正確にご入力下さい。

【お願い】返信メールが未達の方へ

● ご使用の携帯端末やアドレスで、パソコンからのメールの受信を拒否設定にされている場合、お手数をおかけ致しますが、解除していただくか、本サイトのアドレスからのメールを指定受信して下さいますようお願い申し上げます。

（返信が受信されないというお問い合わせを時々頂きますが、その原因のほとんどがこれです。）

● このほか、アドレスの入力ミスも多く見られます。確実な送受信経験のあるアドレスをここにコピー&ペーストし、お差し支えなければ、その他のアドレス欄（下欄）もご入力いただくことを推奨します。

● それでも私からの返信が受信されない場合は、このフォームを使わず、岩崎のメールアドレス宛てに直接お送りいただくか、Twitter や mixi のメッセージでお送り下さいますようお願い申し上げます。

その他のメールアドレス

（上記アドレスに返信できない場合、以下のアドレスに返信させていただきます。）

◆2. ご希望の楽曲を選択する

◇ ダウンロード購入希望楽曲（□にチェックを入れて下さい。何曲でも選択可。） ※ 必須

● 数字は順に、再生時間、単価（税込）です。

- 試聴ページはこちらです。

交響詩

- 交響詩 『刻燈』（こくとう） 第一楽章 「刻燈 一」
8:27 150 円
- 交響詩 『刻燈』（こくとう） 第二楽章 「風光 一 - 鶯 -」
3:24 80 円
- 交響詩 『刻燈』（こくとう） 第三楽章 「刻燈 二」
8:55 150 円
- 交響詩 『刻燈』（こくとう） 第四楽章 「風光 二 - 逍遙 -」
4:05 100 円
- 交響詩 『刻燈』（こくとう） 第五楽章 「刻燈 三」
10:51 150 円
- 交響詩 『月花欄干』 第一楽章 「或る哀愁に撓垂れて」
2:51 80 円
- 交響詩 『月花欄干』 第二楽章 「插花の裾風」
4:42 100 円
- 交響詩 『月花欄干』 第三楽章 「月下に袖枕を和ふ」
2:34 80 円
- 交響詩 『月花欄干』 第四楽章 「綴れ舞」
3:21 80 円
- 交響詩 『月花欄干』 第五楽章 「白砂の汀に寂返る」
8:52 150 円
- 交響詩 『月花欄干』 第六楽章 「月花欄干」
2:42 80 円

幻想曲

『共感覚幻想曲』 第一楽章
8:13 150 円

『共感覚幻想曲』 第二楽章
9:14 150 円

『共感覚幻想曲』 第三楽章
5:47 100 円

管弦楽曲・協奏曲・和楽器管弦楽曲

『紅梅の月影は夢幻（ゆめまぼろし）のごとく』
2:50 80 円

『冬、五つの幻想』 一 「時雨 - タされば -」
2:04 80 円

『冬、五つの幻想』 二 「落葉 - 枯木立にて -」
3:45 80 円

『冬、五つの幻想』 三 「霜夜 - 幻惑 -」
5:17 100 円

『冬、五つの幻想』 四 「丹頂 - 求愛の舞 -」
2:46 80 円

『冬、五つの幻想』 五 「雪花 - 白き体 -」
3:06 80 円

『夜半の眺め - 濤標の路の果てに寄せて -』
10:34 150 円

『夕麗』

『岩崎純一全集』第七十六巻「芸術、文化、言語、文学（一の六）」

8:47 150 円

『序曲 - 桜花 -』

1:31 80 円

『終曲 - 花再び -』

1:41 80 円

『紅葉の朱』（もみじのあけ）

2:23 80 円

『秘密の葉』

7:38 130 円

『陰影への序章』

6:42 130 円

室内楽曲

『朱華』（はねず）

4:46 100 円

『若菜』

2:30 80 円

ピアノソロ（派生曲も掲載）

『子供たちのための小曲集 2』「童心 1」

5:57 100 円

『子供たちのための小曲集 2』「童心 2」

2:00 80 円

『子供たちのための小曲集 2』「跳ぶ」

2:12 80 円

『岩崎純一全集』第七十六巻「芸術、文化、言語、文学（一の六）」

『子供たちのための小曲集 2』「時」

2:11 80 円

『子供たちのための小曲集 2』「夢 1」

4:46 100 円

『子供たちのための小曲集 2』「夢 2」

2:36 80 円

『子供たちのための小曲集 2』「夢 3」

2:57 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「c」

2:45 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「c#」

3:07 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「d」

3:15 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「d#」

1:45 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「e」

2:45 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「f」

3:07 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「f#」

3:15 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「g」

1:45 80 円

『岩崎純一全集』第七十六巻「芸術、文化、言語、文学（一の六）」

『子供たちのための小曲集 1』「g#」

2:45 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「a」

3:07 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「a#」

3:15 80 円

『子供たちのための小曲集 1』「b」

1:45 80 円

『水の精の夢』 ピアノソロ

5:27 100 円

『水の精の夢』 合奏版

4:38 100 円

『紫清漣』（むらさきせいれん）

2:03 80 円

民族音楽

『ガムラン・スケッチ』

3:03 80 円

シンセサイザー

『Laanmmia』

3:27 80 円

『Horizontal Desire』

5:31 100 円

ピアノ曲（派生曲も掲載）

『岩崎純一全集』第七十六巻「芸術、文化、言語、文学（一の六）」

『雪肌詩』（ゆきはだのうた） ポップス調
5:33 100 円

『雪肌詩』（ゆきはだのうた） 管弦楽調
5:33 100 円

『Poeme de Petales I』
7:38 130 円

『Poeme de Petales I』 ピアノソロ
7:35 130 円

ジャズ

『Carezza 9』（カレッツァ・ノーノ）
3:53 80 円

『Carezza 9』（カレッツァ・ノーノ） スローバージョン
5:14 100 円

フュージョン

『Lovesick Moon』
3:56 80 円

『Sentimental Express』
5:28 100 円

『Tokyo Bay Side』
7:03 130 円

『Tokyo Skyscape』
4:17 100 円

◆3. お問い合わせ内容を入力する

◇ お問い合わせがございましたら、お書き下さい。 ※ 任意

◆4. 送信内容を確認して送信する

● このボタンを押しても、まだ送信されません。次の画面で送信内容をご確認いただいた後、「送信する」を押して下さい。

※ IP アドレス・ホストを記録しております。マナーやモラルに反する不適切な内容の送信はご遠慮下さい。

メールフォームからの送信完了

送信は正常に完了しました。お問い合わせありがとうございました。

●音楽（ダウンロード購入）御注文フォームへ戻る

音楽ダウンロードページ

二〇一四年二月三日 起筆

二〇一四年二月二十七日 ログインページとして提供開始

二〇一六年十月二十九日 最終更新

※このたびはご注文いただき、誠にありがとうございます。

楽曲の購入・使用のご要望、作曲・編曲のご依頼について

▼ご注文いただいた音楽タイトルのファイル（MP3）をクリックし、納品書に記載されたID およびパスワードをご入力の上、ダウンロードをお願い致します。

（ダウンロード方法は、ご使用のパソコンや携帯端末により異なりますので、お客様各位でのご対応をお願い申し上げます。）

↓ ↓ ↓

▼請求書に記載された入金先に、合計額をお振込み下さいますようお願い申し上げます。また、領収書の発行については、上記のページをご覧くださいようお願い申し上げます。

（不明な点などございましたら、上記ページのアドレス宛てにメールをお送り下さいますようお願い申し上げます。）

■MP3のダウンロード ※ご注文いただいていない楽曲はダウンロードできません。

交響詩

交響詩 『刻燈』（こくとう） 第一楽章 「刻燈 一」

交響詩 『刻燈』（こくとう） 第二楽章 「風光 一 ・ 鶯 ・」

交響詩 『刻燈』（こくとう） 第三楽章 「刻燈 二」

交響詩 『刻燈』（こくとう） 第四楽章 「風光 二 ・ 逍遙 ・」

交響詩 『刻燈』（こくとう） 第五楽章 「刻燈 三」

『岩崎純一全集』第七十六巻「芸術、文化、言語、文学（一の六）」

交響詩 『月花欄干』 第一楽章 「或る哀愁に撓垂れて」

交響詩 『月花欄干』 第二楽章 「插花の裾風」

交響詩 『月花欄干』 第三楽章 「月下に袖枕を和ふ」

交響詩 『月花欄干』 第四楽章 「綴れ舞」

交響詩 『月花欄干』 第五楽章 「白砂の汀に寂返る」

交響詩 『月花欄干』 第六楽章 「月花欄干」

幻想曲

『共感覚幻想曲』 第一楽章

『共感覚幻想曲』 第二楽章

『共感覚幻想曲』 第三楽章

管弦楽曲・協奏曲・和楽器管弦楽曲

『紅梅の月影は夢幻（ゆめまぼろし）のごとく』

『冬、五つの幻想』 一 「時雨 - 夕されば -」

『冬、五つの幻想』 二 「落葉 - 枯木立にて -」

『冬、五つの幻想』 三 「霜夜 - 幻惑 -」

『冬、五つの幻想』 四 「丹頂 - 求愛の舞 -」

『冬、五つの幻想』 五 「雪花 - 白き体 -」

『夜半の眺め - 濤標の路の果てに寄せて -』

『岩崎純一全集』第七十六巻「芸術、文化、言語、文学（一の六）」

『夕麗』

『序曲 - 桜花 -』

『終曲 - 花再び -』

『紅葉の朱』（もみじのあけ）

『秘密の葉』

『陰影への序章』

室内楽曲

『朱華』（はねず）

『若菜』

ピアノソロ（派生曲も掲載）

『子供たちのための小曲集 2』「童心 1」

『子供たちのための小曲集 2』「童心 2」

『子供たちのための小曲集 2』「跳ぶ」

『子供たちのための小曲集 2』「時」

『子供たちのための小曲集 2』「夢 1」

『子供たちのための小曲集 2』「夢 2」

『子供たちのための小曲集 2』「夢 3」

『子供たちのための小曲集 1』「c」

『岩崎純一全集』第七十六巻「芸術、文化、言語、文学（一の六）」

『子供たちのための小曲集 1』「c#」

『子供たちのための小曲集 1』「d」

『子供たちのための小曲集 1』「d#」

『子供たちのための小曲集 1』「e」

『子供たちのための小曲集 1』「f」

『子供たちのための小曲集 1』「f#」

『子供たちのための小曲集 1』「g」

『子供たちのための小曲集 1』「g#」

『子供たちのための小曲集 1』「a」

『子供たちのための小曲集 1』「a#」

『子供たちのための小曲集 1』「b」

『水の精の夢』 ピアノソロ

『水の精の夢』 合奏版

『紫清漣』（むらさきせいれん）

民族音楽

『ガムラン・スケッチ』

シンセサイザー

『Laanmmia』

『岩崎純一全集』第七十六巻「芸術、文化、言語、文学（一の六）」

『Horizontal Desire』

ピアノ曲（派生曲も掲載）

『雪肌詩』（ゆきはだのうた） ポップス調

『雪肌詩』（ゆきはだのうた） 管弦楽調

『Poeme de Petales I』

『Poeme de Petales I』 ピアノソロ

ジャズ

『Carezza 9』（カレッツァ・ノーノ）

『Carezza 9』（カレッツァ・ノーノ） スローバージョン

フュージョン

『Lovesick Moon』

『Sentimental Express』

『Tokyo Bay Side』

『Tokyo Skyscape』

音楽のダウンロード販売を開始

二〇一四年二月二十七日 起筆、擱筆、公開

作曲・音楽のページ (IJ ART MUSIC) にて音楽ファイルのダウンロード販売を開始しました。

以下のフォームが大変便利です。

過去のCDの収録曲も、一曲ずつ（150円以下）ご購入いただけます。

作曲・音楽のページはこちら (IJ ART MUSIC)

IJ ART MUSIC

音楽（ダウンロード購入）御見積り・御注文フォーム

